

大学公開講座

2月10日(土)・2月17日(土) 午前10:00~12:00

2/10(土)

今治平野の古墳文化

～相の谷古墳の魅力を探る～

【講座内容】

愛媛県歴史文化博物館で開催したテーマ展「今治平野の古墳文化」(2023年7月19日～11月26日)をもとに、当地域の古墳文化の特色を古墳時代前期・中期・後期に分けて紹介する。

また、1966年・1967年に発掘調査が行われ、現在も同地(今治市近見町)に残存している相の谷1号墳他の環境保全のボランティア団体(しまなみ海道周辺を守り育てる会)の活動を通して、参加者とともに古墳の保存のあり方について考えてみたい。



愛媛県歴史文化博物館
専門学芸員 富田 尚夫氏

【講師略歴】

1969年大阪府高槻市出身。関西大学文学部にて考古学を学ぶ。1994年9月愛媛県入庁。同年11月より愛媛県歴史文化博物館に勤務。現在、同館専門学芸員。主な編著に『今治市相の谷1号墳出土遺物』愛媛県歴史文化博物館資料目録第16集(2007年)、「今治平野南部の群集墳と横穴式石室」『愛媛県歴史文化博物館研究紀要』第23号(2018年)他。

2/17(土)

地域から考えるしまなみ海道
の観光とポテンシャル

【講座内容】

しまなみ海道は、英語表記で「SHIMANAMI KAIDO」とそのまま表記されるまでに世界的認知が高まっており、日本だけでなく世界中から注目される観光地となっています。一方で、コロナ禍が明け、観光客が戻りつつある状況の中で、オーバーツーリズムなどの諸問題が各地で再燃しており、「持続可能な観光地」を目指して「地域発で観光を考える」機運が高まっています。

「地域発で観光を考える」とはどういうことなのかを議論したいと思います。



株式会社しまなみ 経営・事業企画部 部長
蓮岡 悠介氏

【講師略歴】

1978年岡山県倉敷市出身。法政大学大学院政策創造研究科政策創造専攻修士課程修了(政策学修士)。専門分野:観光社会学
旅行会社H.I.S.で旅行商品企画部門を中心に15年間勤務(ドイツ・フランクフルトへ約4年半の海外赴任。)
横浜にある原鉄道模型博物館で学芸員として5年間勤務。
東京から愛媛県今治市に移住し、現職。
資格:総合旅行業務取扱管理者、学芸員 剣道4段

と き 2月10日(土)・2月17日(土)
毎回土曜日 午前10:00～12:00

受講料
定員

無料
100名(先着順) 2月1日(木)より受付開始。
定員になり次第締切。定員に満たない場合は当日受付可。

と ころ 今治明德短期大学(矢田甲688)
3号館大講義室

申込方法
申込先

申込先へ電話等でお申し込みください。
今治明德短期大学 地域連携センター
TEL: 0898-22-7366(直通)

イベントは、天候・新型コロナウイルスの影響により中止する可能性があります。

※基本的に事前申し込みですが、当日でも定員に空きがあれば受講が可能です。
※駐車場は数に限りがありますので、できましたら乗り合わせまたはバスでご来場ください。
※発熱など体調不良の場合は参加しないでください。マスクの着用をお願いします。

後援: 今治市・今治市教育委員会

お問い合わせ先



今治明德短期大学

TEL: 0898-22-7279

FAX: 0898-22-7857

Email: info@meitan.ac.jp

